

もくじ

・新年のご挨拶	1面	・障害者(児)リフレッシュ事業報告	3面
・表彰の報告	1面	・インフォメーション	4面
・シリーズ		・ありがとう温かい心	4面
「私たちこんな活動しています」	2面	・福祉用具リサイクル	4面
・第20回なかはら福祉健康まつり報告	3面		

発行所 社会福祉法人
 川崎市中原区社会福祉協議会
 川崎市中原区今井上町1-34
 和田ビル1階 福祉パルなかはら
 Tel 722-5500 Fax 711-1260

発行人 青木 英光
 編者 社協なかはら等編集委員会

新年のご挨拶

川崎市中原区社会福祉協議会

会長 青木 英光



謹んで新年のお喜びを申し上げます。
 皆様には健やかに新春を
 お迎えのことと存じます。



昨年は、川崎市が提唱し、平成三十年三月末を期限とする「地域包括ケアシステム」の構築に向けた土台作りが、本格的に始まりました。誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられる地域の実現を目指すもので、川崎市は、全ての地域住民が対象です。

中原区においては、行政と社協(区社協・地区社協)との協働事業として、地区民児協、地区町連と連携し、関係機関の協力を頂き、社協の重要な事業と位置付けて推進します。各地区では、地域の実情に応じたシステムの構築に向けて鋭意取り組んでおります。

また、第三期地域福祉活動計画の実行に当りましては、中原区の地域特性を的確に捉え、多岐・多様化する地域の福祉課題につき、住民の皆様の期待に応えられるよう高齢者・障がい者福祉や子育て支援等の「地域福祉活動」を中心に積極的に推進しました。特筆できる取り組みは、次の二点です。

一つは、「なかはら福祉健康まつり」

です。これは、中原区の協働推進事業で、地域との連携をより一層強化し、地域の皆さんに福祉と健康について、正しく理解して頂くことを目標にしています。

今回も、秋晴れの好天に恵まれ、人出が多く盛り上り大変盛会でありました。

一つは、「障害者(児)リフレッシュ事業」です。この事業は、障がい者(児)とその家族の生きがいや自立を支援するために必要なりフレッシュを図って頂くことを目標としています。本年度も、地区社協のボランティア協力により、川崎フロンタールのホームゲームを観戦して頂きました。皆さんは、大観衆とプロサッカーの生の白熱した公式戦が観戦出来て、その喜びと感動でいっぱいでした。

今後も、区民一人ひとりが、住み慣れた地域で、助けあい、支えあいに、安心して暮らし続けられる地域社会づくりに努めて参ります。何卒、皆様の格別なご支援とご協力をよろしくお願ひ申し上げます、新年のご挨拶といたします。

平成28年度各種表彰・感謝の報告 (敬称略・順不同)

平成28年度中原区社会福祉協議会会長表彰状・感謝状贈呈式開催

去る平成28年11月5日に開催された「第20回なかはら福祉健康まつり」において、平成28年度の中原区社協会長表彰状・感謝状の贈呈式を行ないました。今年度の受賞者・団体はつぎの方々です。

- セレサ川崎農業協同組合
- ボーイスカウト川崎第22団
- 大塚 敬二



表彰式の様子

第54回川崎市社会福祉大会

- ◇川崎市長表彰
 - 社会福祉団体役員
 - 佐野 啓子(小杉地区社協)
 - 森田 恵子(大戸地区社協)
 - 劔物八重子(大戸地区社協)
 - ボランティア活動等
 - 地域ふれあい「つきやまサロン」
- ◇川崎市社協会長表彰
 - 地域福祉活動への貢献者
 - 松本 登(住吉地区社協)
 - 遠藤 榮一(玉川地区社協)

- 大原 陽子(丸子地区社協)
- 伊藤 孝子(小杉地区社協)
- 能勢象一郎(大戸地区社協)

全国社会福祉大会表彰者

- ◇全国社会福祉協議会会長表彰
 - 民生委員・児童委員功労者
 - 小金井 正吉(丸子地区)
 - 森田 恵子(大戸地区)
 - 社会福祉協議会・民間社会福祉団体関係功労者
 - 熊倉 忠三郎(住吉地区社協)

シリーズ
Vol.5

私たちこんな活動しています!



中原区社会福祉協議会は、第1種から第10種までの組織・団体によって構成されています。

第1種：公私社会福祉事業施設・団体、**第2種**：地区社会福祉協議会、**第3種**：地区民生委員・児童委員協議会、**第4種**：地区保護司会、**第5種**：地区町内会連絡協議会、**第6種**：障害者当事者団体、**第7種**：ボランティアグループ
第8種：社会福祉に関係のあるその他の団体、**第9種**：社会福祉関係行政機関、**第10種**：学識経験者

本号は当会の第7種会員であり、中原区内で活動するボランティアグループを紹介いたします。

川崎実年ボランティアの会

連絡先：【住所】川崎区日進町19-5
【TEL】044-211-8484
【FAX】044-211-8484

昭和60年にスタートし、30周年を迎えた今、川崎実年ボランティアの会メンバーは約3分の1の15人になってしまいました。

高齢化は多くのグループの避けられない課題ですが、それを越えるアイデアと知恵が不足しているのかも知れません。

この広報がその一助になればと思い、現在どんな活動をしているのかを紹介したいと思います。

メンバーは書道・華道・茶道などやダンスや折り紙な

どのクラフト工芸等、多才で各種の資格をもった人の集団です。高齢者・障害者施設や子供たちのいる青少年施設など、要望に応じて指導を行っています。

私たち人間だれでも一芸などのスキルをもっています。その技術・技能を他人のためにもっと活用してはと思っています。

ぜひ、職人さんや音楽家・画家などの芸術家達もその能力を活かしてみませんか。皆様の参加をお待ちしております。



第20回なかはら福祉健康まつりでの活動風景

手話サークルかけはし

連絡先：中原区社会福祉協議会へお問い合わせください。
【TEL】044-722-5500
【FAX】044-711-1260

手話サークルかけはしは昭和57年11月26日に発足し、手話を学び手話を通じて聴覚障害者との相互理解を深め福祉の向上を図ることを目的として活動しています。

毎週金曜日の午前中に、川崎市中部身体障害者福祉会館をお借りして手話の学習をし、時間がある人はそのまま残ってお弁当を食べながら、手話で楽しくおしゃべりしています。年に数回は講演会を開いたり、ゲーム大会をしたりハイキングに出かけたりと、会員同士の親睦を深めています。

手話を通じてボランティア活動もいろいろ行っています。中原区内の小・中学校で、聴覚障害者理解や手話の指導もしています。最近は授業の中に福祉について学ぶ時間があり、多くの学校から依頼があります。

中原区聴覚障害者協会・手話サークルなかまと共に、3団体での活動も活発に行っています。市内唯一の聴覚障害者のための専門施設である川崎市聴覚

障害者情報文化センターが主催する各種行事への参加・協力等の他、今年度は新たに中原警察署のイベントへの協力も行いました。

手話は言語であると認められ、全国的に手話への理解と普及が進んでいる今、私たちもますます頑張ってお話していきたいと思っています。



活動風景

第20回 なかはら福祉健康まつり

平成28年
11月5日(土) 開催

20回目を迎えた今年の「なかはら福祉健康まつり」は、早朝の曇り空も開会式が始まる10時頃には明るくなり、暖かな秋晴れのもとで開催されました。

正面広場エリアと区役所5階エリアに大きく分かれ、参加・協力団体は49団体でした。

各活動の「紹介・展示」、「福祉健康づくり体験コーナー」、「物品販売」などの他に、屋外ではうどん・田楽・赤飯・菓子などが販売され、思い思いに休憩場所で美味しそうにほおぼる人達の姿が見られました。

5階のメインステージでは、体操やダンス、太極拳などが発表され、見ている人達も一緒に体を動かして参加していました。

体験コーナーでは、ミニリースづくり、小林グライダー、朗読など、それぞれ分かりやすく丁寧に説明しており、体験することができるようになっていました。他に、成年後見人制度、認知症、食生活に関する情報が得られるコーナーなど、盛りだくさんです。特に人気だったのは、普段なかなか測ることのできない「血管年齢測定コーナー」では、20分から30分待ちの状態でした。

来場者の手には、最初に受付で配られたエコバックに各コーナーで手渡された活動の案内や健康に関する資料、制作した作品、ウォークラリーの記念品などがたくさん詰まっていた。

午後2時、早々と完売するお店も有り、盛況のうちに「なかはら福祉健康まつり」は終了しました。

今回、取材させていただいて、中原区の福祉や健康づくりに携わっている人や団体の多さに驚かされました。そして、この催しに連なる人達が増えていけたら良いなと思いました。

レポーター編集委員／小泉文子・渡辺久仁子



区役所正面広場



血管年齢測定



ミニリースづくり体験



住吉高校チアリーディング

中原区社会福祉協議会主催

障害者(児)リフレッシュ事業

報告

平成28年10月22日(土) 会場:等々力競技場

この事業は、共同募金を財源として、中原区内に在住・在学・在勤の障がい者(児)を対象として、障がい者(児)とその家族の生きがいや自立支援を図ることに必要なリフレッシュを目的に、毎年1回開催しています。

昨年度に続き等々力競技場にて、「川崎フロンターレホームゲームを観戦しよう!」ということで、J1リーグ2ndステージホームゲームのサンフレッチェ広島戦を観戦しました。

今年度も多くの参加希望をいただいたため抽選を実施し、当日は206名で観戦いたしました。一週間前には雨の予報が出ていて心配された天気は試合終了まで何とか持ち、ピッチに近い観戦席で臨場感を味わいながらの観戦となりました。



本事業はゲームの観戦だけではなく、応援グッズとしてフロンターレコラボタオルやお弁当、飲み物を準備し、試合前に観客席で昼食を終えて、試合中はタオルを振っての応援でした。

試合は立ち上がり自陣でボールを奪われてピンチを招きましたが、我慢強くしのいだフロンターレも徐々にペースをつかみ、フロンターレとサンフレッチェともにチャンスを作りましたが得点につなげられず、スコアレスのまま前半を折り返しました。後半立ち上がり、お互いにチャンスを迎えましたが得点にならず、その後も一進一退の攻防が続きました。さらに攻撃のギアを上げ、途中出場の森谷選手がシュートを決めて先制。さらに試合終了間際に中村選手が勝負を決める追加点を挙げ、苦しみながらも等々力で勝点を上げました。

来年度も参加者がリフレッシュできる内容を企画いたしますので、ぜひご期待下さい。

インフォメーション

中原老人福祉センター かるた大会開催のお知らせ

開催日時：平成29年3月3日(金)
午前10時～12時(集合：午前9時半)
会場：中原老人福祉センター 大広間
対象：川崎市内在住の60歳以上の方
定員：20名
申込方法：参加申込者本人が直接来所のうえ、センター窓口にて受付。
【先着順】定員になり次第受付終了
申込期間：2月6日(月)～2月17日(金)
※試合方式は中原センタールールで行います。(トランプ神経衰弱の方法と同じです。)
※駐車場はございません。
送迎バス(武蔵小杉駅・武蔵新城駅発着)または公共交通機関をご利用ください。

問合せ 中原老人福祉センター
TEL：777-6000 FAX：777-2833

～子育て・親育ち～ 「こころの子育て講座」参加者募集

内容：1日目 子どもとのコミュニケーション
2日目 子育てでわきあがる気持ちへの対処方法
日時：①平成29年1月31日(火)②平成29年2月13日(月)
午前10時から12時(予定)
会場：福祉バルなかはら研修室
(中原区今井上町1-34 和田ビル1階)
対象：区内在住で就学前のお子様のいる方。
また、2日間とも参加可能な方。
参加費：無料
定員：20名(申込多数の場合は抽選)
講師：石井栄子氏(玉川大学・國學院大学兼任講師)
小山孝子氏(NPO法人乳幼児親子支援研究機構副理事長)
申込み：平成29年1月6日(金)締切
※託児をご希望の方は申込時にご予約ください。
(2歳以上のお子様。定員あり。)

申込み問合せ 中原区社会福祉協議会地域課
TEL：722-5500 FAX：711-1260



全国社会福祉協議会ボランティア活動保険 保険料変更のお知らせ

平成29年度「ボランティア活動保険」の掛金が変わります。変更になるプランと金額は下記のとおりです。

	平成28年度		平成29年度
基本タイプA	300円	→	350円
基本タイプB	450円	→	510円
天災タイプA	430円	→	500円
天災タイプB	650円	→	710円

平成29年度ボランティア保険においては、上記の他に活動保険における保険金改定や行事用保険におけるプラン新設等も発生いたしますが、詳細については、2月上旬頃から中原区社協窓口で配布予定のパンフレットをご参照ください。

問合せ 中原区社会福祉協議会地域課
TEL：722-5500 FAX：711-1260

参加費無料 子育てグループ知りたいな 申込み不要

～グループの紹介をします～開催のお知らせ

子育て中の親子を対象に、区内で活動している子育てグループの紹介を行います。子育てグループに興味のある方は是非ご参加ください！

日時：平成29年2月28日(火)
午前10時～11時30分
会場：中原区役所5階会議室
内容：子育てグループ紹介と懇談
子育てグループ紹介DVDの上映
親子体操「ミミケロ体操」の紹介 他
対象：生後6か月～就園前のお子様とその保護者



問合せ 中原区社会福祉協議会地域課
TEL：722-5500 FAX：711-1260

※問合せ後の連絡・引き取りは当事者同士で行っていただきます。

※先着順のためご希望に添えない場合があります。

《問合せ》 中原区社会福祉協議会
TEL 722-5500
FAX 711-1260

◆車いす
◆ポータブルトイレ
◆シャワーチェア
◆リハビリシューズ
◆シルバーカー
◆マッサージベッド
◆シャワーベンチ

ゆずりください

ゆずります

◆常時募集中！お気軽にごとぞ。

福祉用具リサイクル

◆大塚 敬一 (敬称略)

◆匿名

◆寄付金

平成28年10月1日～平成28年11月30日までの「ボランティア銀行なかはら」への善意の寄付金は次のとおりです。これらは地域の福祉関係団体や施設などへお贈りしています。

ありがとう
温かい心